

第4表 相関係数の高かったもの (± 0.8 以上)

年 月	風速と汚染	MMDと汚染	相対汚染と汚染
1970. 1	-0.79	-0.10	○+0.85
1966. 10	-0.79	-0.07	○+0.82
1967. 1	○-0.81	-0.29	+0.72
1966. 12	-0.74	-0.65	○+0.80
1967. 12	-0.78	-0.55	○+0.80

1月, 2月, 3月, 4月は僅かに有意性が認められる関係といえる。

また回帰直線を見ると12月, 1月, 2月では昭和44年, 45年が昭和42年に比しかなり汚染源の少い状態を示し, 8月では逆の傾向を示している。主風向別に分けるとかその他の気象要素も考えなければならぬと考えられるが第一段階の調査としては汚染源の減少があったと考えてもよさそうである(第10図)。

5. あとがき

この調査は地方共同研究として気象研究所桜場応用気

象研究部長, 森口主任研究官の援助を受けた。また斉藤, 久米, 西本, 須田, 藤本各歴代予報課長の指導を頂いた。またプログラミングに関しては電子計算室大滝プログラマー, 山下技術主任の示唆を受けた。製図は市川文夫氏をわづらわした。諸氏に厚く感謝の意を表します。

文 献

- 1) M.E. Miller and G.C. Holzworth (1966): An Atmospheric Diffusion for Metropolitan Areas. Presented at the 59th Annual Meeting, Air Pollution Control Association, San Francisco, California; June 20-24, 1966.
- 2) S. Sugiura (1967): Some Preliminary Studies for Forecasting of High Air Pollution Potential. (to be Published in Geoph. Mag.)
- 3) 杉浦 茂 (1967): 大気汚染気象予報と問題点。昭和42年度東京管区気象台研究会シンポジウム大気汚染気象予報。
- 4) 気象庁予報部 (1969): 大気汚染の気象予報

気象学会大会予稿集について

昭和47年度秋季大会(新潟)の予稿集の残が若干ありますので購入希望者は学会事務局まで、

定価 1部 600円

なお予稿集は従来から予約購入をお願いしております

が今後とも、できるだけ予約して定期購入して下さるようお願いいたします。

講演企画委員会